

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年 5月26日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2012

課題番号：21520728

研究課題名（和文） 18－20世紀における北京の社会経済空間と市民の日常生活に関する研究

研究課題名（英文） The daily life of social and economic environment and the citizens of Beijing 18-20 Century

研究代表者

熊 遠報（YUANBAO XIONG）

早稲田大学・理工学術院・教授

研究者番号：50386588

### 研究成果の概要（和文）：

本課題では一般の文献資料の他、画像、写真、古い地図などの史料を重要視し、現存の建築、施設などの調査をつき合わせ、景観、空間構造を中心にし、18－20世紀における北京の社会経済空間と市民の日常生活、具体的に都市の屎尿処理、食糧の供給、娯楽施設、遊郭、会館などの側面について調査と研究を行ない、資料利用方法の模索を含めながら新しい研究を展開した。この中でとりわけ19世紀後半以来の写真等の史料を参照した上で、18世紀の北京の市街、城壁関連の画像資料を利用し、18世紀における北京の景観、市街の経済空間と多種多様な人間像を立体的に考察した。

### 研究成果の概要（英文）：

Other than providing concrete historical artifacts and references, this study pays special attentions to data mining and utilization of old painting, photograph, and ancient maps. This study also did extensive on-site investigations of the existing landscape and facilities. Centralized on landscape and spatial structures, the study focus on the early social and economic environment and people's daily life from 18 to 20 Century in Beijing, especially the waste processing, food supply, entertainment facilities and brothels. The studies made new progress in terms of study method, research focus and empirical studies of actual artifacts.

### 交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	900,000	270,000	1,170,000
2010年度	800,000	240,000	1,040,000
2011年度	800,000	240,000	1,040,000
2012年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

### 研究分野：

人文学・史学

### 科研費の分科・細目：

アジア史・アフリカ史、中国古代・中近世史

### キーワード：

北京、社会経済構造、景観、空間構造

日常生活、排泄物処理、画像資料、歴史記憶

## 1. 研究開始当初の背景

16世紀以降、国際貿易の展開および国内の流通業の発達などの諸要因によって市鎮の成長、都市規模の拡大が中国の各地域に見られ、特に17世紀末より人口が爆発的に増加し、都市が膨張してきた。社会経済構造の中で重要度を増しつつある都市は、中国研究、特に伝統社会の構造と特質を理解する際、非常に重要な分野になっている。学界では、約百年の間、中国の都市史に関して、多くの学者は都市の形成とその発展、都市の政治、経済、商業などの機能に注目し研究を行なってきて、近年開港都市、都市の半植民地化と近代化、市政と公共空間などの課題が重要視され、上海、天津、重慶、武漢に関する研究が大きく行なわれている。

北京研究の中で18世紀から20世紀にかけての時期に関して、主に以下のような研究が注目されている。

A、梁思成、侯仁之、蔡藩、唐曉峰、李孝聡、曹子西、陣内秀信、高村雅彦、Susan Naquin、朱自煊、張複合、新宮学、谷村秀彦などの学者による北京の成立とその変容、首都の移転と政策決定、都市の建設過程、住居、水利、交通、宗教施設、空間構造と計画等の研究。

B、G. William Skinner、韓光輝、史明正、斯波義信等の学者による人口およびその空間分布、市政の近代化等の研究。

C、Sidney D. Gamble、John Stewart Burgess、陶孟和、李景漢、仁井田陞、今堀誠二、David Strand、呉建雍などの学者による社会風俗、市民の収入と消費、都市の社会組織、市民団体、同郷団体、同業組織、特殊な労働団体と北京の政治などの調査研究。

それ以外、最近、陳平原、Yue Dong、Yomi Braester、董曉萍、趙世瑜等、およびフランス極東学院の学者は、文学、文化人類学等の視点から北京の伝説、知識人と都市記憶、祭りなどを研究している。

以上のように中国、日本、欧米の研究者は様々な課題を取り上げて、多彩な展開を行ない、多くの研究成果を積み重ねてきたが、元代以降、数百年間、王朝の首都として、中国の他の大都市や日本の江戸研究と比べて、新しい資料の利用、研究方法の模索、研究内容にも北京の関連研究が十分に展開されているといえない。

この数年間、私は、北京の住民及び都市全体に関わるライフラインに注目し、生活用水、ゴミ、特に排泄物の処理、また食糧の供給という側面を取り上げて、北京の社会経済構造を考察する試みであり、一部の内容が解明されているものの、それぞれの分野に関する研究にはまだ多くの課題が残り、情報通信、交通および日常生活用品の供給およびその構造に関する研究は着手してないため、基本の

施設と生活供給という側面から18—20世紀における北京の社会経済構造を解明する研究は、方法論の創出を含め、様々な具体的作業が必要である。

## 2. 研究の目的

「18—20世紀における北京の社会経済空間と市民の日常生活に関する研究—伝統都市の社会経済構造を立体的に描き出す試み—」では、今までの諸研究の蓄積を踏まえて、文献資料の外、『乾隆京城全図』、『万寿聖典図』等、多くの地図、絵と写真資料、伝統建築等の「沈黙資料」を駆使し、現地調査と突合せ、視覚、体感（聴覚、嗅覚）などの視角を含め、伝統都市の北京の景観と社会経済構造を立体的に把握してみたい。

## 3. 研究の方法

A、研究視角。本研究では、文献資料だけではなく、視覚、体感（聴覚、嗅覚）などの視角から18—20世紀における北京住民の日常的環境と社会経済生活を立体的に把握する。

B、新しい資料の発掘と利用範囲の拡大。本研究では、様々な文献資料、公文書を重視した上で16世紀以降、中国人画家、政治家、文人、及び欧米、日本、朝鮮などの国の宣教師、使節、僧侶、旅行者によって書かれた古い地図、絵図、画像、写真を集めて市街の景観と住民生活の実態を描き出し、また行商等の振り売り等の音声資料を集め、市場の特徴を分析する。

C、新しい研究方法の模索。文字史料を十分に活用し、積極的に視覚や音声史料を取り入れ、「沈黙史料」と現地調査につき合わせ、北京の全体像を立体的に描き出し、伝統都市の社会経済構造を解明する。これによって文字資料の限界を克服し、画像・写真史料等の処理を含め、新しい歴史学の研究方法を模索する。

## 4. 研究成果

本課題は、資料調査と現地調査、および専門的研究を三本の柱とし、調査研究を実施してきた。

現地調査は、北京住民の歴史記憶、伝統都市区域の景観と空間構造、同業組織と地域の会館を中心に行った。北京住民の歴史記憶について、主に「外来者」としての住民は北京に入る契機、北京での社会経済生活、住民がみた、体験した北京の変化、大きな出来事などを巡って調査し、一部地域の伝統景観の写真撮影を行なった。

研究は、主に研究誌、図書、国際シンポジウム、招聘講演を通して、社会に発信した。いくつかの側面からの成果があるが、主要内容は以下である。

1、北京の都市景観と経済空間について、康熙時代の『万寿盛典図』という画像資料を中心に18世紀の北京城に関する画像資料、また19世紀中期以来、北京に関する写真資料などを利用し、まだ残っている北京の伝統市街、施設などの現地調査資料をつき合わせ、18世紀における北京の都市景観、市街の百態、市民の経済生活などを立体的に構築してみた。

2、18-20世紀前期における北京住民の排泄物の処理について、「糞道」という所有権利と経営秩序の形成、外来労働者と都市での生活基盤、都市の公共事業と市民の日常生活への影響などの側面から考察した。

3、首都と地方との関係、商業環境と商業取引のコスト、また徽州商人ネットワークにおける北方拠点の重要性をめぐって、明清時代の北京の歙県会館を取り上げた。また北京における多様なギルド組織およびその施設に関して、「精忠廟」という演劇業者のギルド会館について考察した。

4、徽州地方の「銭会」組織の構成形態、利得モデル、非経済的要素およびその選択、銭会組織の連続性とメンバーの変化状況などの検討を通し、伝統中国社会の金銭貸借、貯蓄、商業資本の出所、また個人（家族）の生存戦略について考察した。

5、「八大胡同」という買春区域を中心に、都市の娯楽施設と城の空間関係について、19世紀末と20世紀前期における北京の都市機能と空間構造を検討してみた。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

### 〔雑誌論文〕(計11件)

- 1、熊遠報「青楼と北京城の空間構造——清代民国期を中心として」(早稲田大学『人文社会科学研究』N053、2013年3月)P195-210。査読なし
- 2、熊遠報「読無字書」(『中国図書評論』2012年6月号(中国北京2012年6月)P22-26。査読あり)
- 3、熊遠報、久保茉莉子「日本の北京関係論著目録——20世紀前半を中心に」(早稲田大学『人文社会科学研究』N052、2012年3月)P87-112。査読なし
- 4、熊遠報、靳永愛「20世紀北京前門地区居民的歴史記憶調査(3)——以山左会館を中心」(早稲田大学『人文社会科学研究』N052、2012年3月)P75-86。査読なし
- 5、熊遠報「北京の歙県会館——明清時代徽州商人の北方拠点を中心に」(『年報 都市史研究19 伝統都市論』2012年3月)P109-123。査読なし
- 6、芦玲、熊遠報「北京の精忠廟について」

(早稲田大学『人文社会科学研究』N051、2011年3月)P173-194。査読なし

- 7、熊遠報、陳捷「20世紀における北京前門地域の住民の歴史記憶調査(2)」(早稲田大学『人文社会科学研究』N051、2011年3月)P163-171。査読なし
- 8、熊遠報「北京水文書与清代民国時期北京的生活用水売買権利」(『民間文献与地域中国研究』(黄山書社2010年))P305-31。査読なし
- 9、熊遠報「胡同と排泄物処理システム」(『伝統都市』4(東京大学出版会2010年))P161-184。査読なし
- 10、熊遠報「18-20世紀の北京における下水道・糞尿処理にみる公共観」(『東アジアにおける公共性の変容』(慶応大学出版会2010年)P259-280。査読なし)
- 11、熊遠報、陳捷「20世紀北京前門地区居民的歴史記憶調査」(早稲田大学『人文社会科学研究』N050、2010年3月)P153-168。査読なし

### 〔学会発表〕(計9件)

- 1、熊遠報「京杭大運河と明清時代の社会経済構造」(国際シンポジウム「京杭大運河と明清時代の社会経済構造」基調報告、シンポジウムの企画、主催、早稲田大学2013年3月25日)
- 2、熊遠報「18世紀における北京の景観と住民の日常生活」(中国北京市、北京大学歴史学部講演、2012年9月27日)
- 3、Yuanbao Xiong (熊遠報) Helping and Saving--the Rotating Credit Society in Traditional Rural Society of the Huizhou(during Ming-Qing Dynasty in China) (Presented at the XVIth World Economic History Congress, 9-13 July 2012, Stellenbisch University, South Africa) (南アフリカ、Stellenbisch市、2012年7月9日)
- 4、熊遠報「北京の歙県会館」(中国、蘇州市蘇州大学、第四届中国近代社会史国際シンポジウム基調報告、2011年8月3日)
- 5、熊遠報「読無字書」(中国武漢市、華中師範大学記念張舜徽先生百年誕辰国際シンポジウム暨中国歴史文献学会32届年会招聘講演、2011年6月22日)
- 6、熊遠報「銀と16世紀以来の東アジア」(中国武漢市、武漢大学歴史学部記念講演、2010年9月17日)
- 7、熊遠報「北京の歙県会館——明清時代、徽州商人の北方拠点を中心に——」(東京大学都市史研究センターラウンドテーブル「17-19世紀中国の都市と商人」東京大学2010年10月9日)。
- 8、熊遠報「漕運港と清代北京の食料供給」(中国社会史学会国際シンポジウム基調

報告、中国山東省、聊城大学、2010年8月21日）。

- 9、熊遠報「18世紀における北京の景観と住民の日常生活——康熙六旬『万寿盛典図』を中心——」（中国貴陽市、第三回中国近代社会史国際シンポジウムの報告、2009年8月28日）

〔図書〕（計1件）

『成熟する江戸』（吉田伸之著、共訳、北京大学出版社2011年5月）P1-261

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

○取得状況（計0件）

6. 研究組織

(1) 研究代表者

早稲田大学・理工学術院・教授

熊 遠報 (YUANBAO XIONG)

研究者番号：50386588

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

なし